

○事業所名	所沢市立松原学園		
○保護者評価実施期間	令和6年12月16日		～ 令和7年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	令和6年12月16日		～ 令和7年1月8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 27
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者支援を丁寧に行っていること	・個人面談等の機会をとらえ、家庭でのお子様の様子を丁寧に聴き取り、支援につなげる努力をしている。 ・連絡帳等を通し、学園でのお子様の日々の出来事や成長の姿を丁寧に保護者に伝える努力をしている。	・引き続き、保護者同士のつながりがより深まるよう、子育てに限らず、保護者同士が語り合える場の提供を充実させていく。 ・心理相談事業をさらに周知し、引き続き相談や悩みに対応していく。
2	・職員(保育士)間の連携を密に行っていること	・支援前後に職員間で打合せを行い、日々のお子様の状況や気付いたこと等を職員間で共有している。 ・ヒヤリハット事例など、他機関からの情報も積極的に共有し、日々の支援に生かしている。	・引き続き、県や関係機関の研修等に参加し、支援者個々のスキルアップを継続していく。 ・園内研修についても引き続き、内容の充実を図りながら、実施を継続していく。
3	・多職種で連携して支援を行っていること	・栄養士と保育士で連携し、お子様が安心して安全に給食を摂ることができるよう日々、試行錯誤を重ねている。 ・療育の講師(ST、OP、CT、MT)と保育士で連携し、お子様の発達について、多角的にアプローチできるよう努めている。	・引き続き、県や関係機関の研修等に参加し、支援者個々のスキルアップを継続していく。 ・園内研修についても引き続き、内容の充実を図りながら、実施を継続していく。 ・療育の講師からの学びの機会を引き続き作り、個々の特性に配慮した支援が行えるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域とのつながりが比較的に弱いこと。	・地域の方々を招待するような事業を行うことが難しい。	・市ホームページや広報を通して、学園の事業を広く発信し、地域の方々の理解を得られるように努めていく。 ・引き続き、民生委員等の地域の方々について、見学の受け入れを行っていく。
2	・きょうだい児支援に対して十分とはいえないこと。	・家庭によって様々な状況がある中で、きょうだい児に特化した事業を行うことは難しいと考えている。	・学園の行事の中で、きょうだい児が参加できるコーナー等に工夫を凝らし、きょうだい児に対する支援を行っていく。 ・保護者サロン等で、きょうだい児をテーマとした話し合いの場を設ける等の工夫をして、家族支援につなげていく。
3			